

地域の福祉ニーズ調査 結果報告

調査の目的

現行の介護保険制度など公的サービスでは対応できない福祉ニーズやそのニーズに身近で対応している方の抱えている課題等を把握し、地域の福祉ニーズを住民同士の力で解決していく地域づくりを推進するために、民生委員児童委員、介護支援専門員及び障害者地域生活支援センターを対象に調査を実施しました。

調査の概要

- ・調査対象者数 計 675 名

地区担当民生委員	262 名	主任児童委員	262 名
介護支援専門員	125 名	障害者地域生活支援センター	26 名
- ・無記名方式
- ・回答選択式
- ・実施期間：6月中旬～7月上旬
- ・回答数 581（内訳下記のとおり）
- ・回答率 86.1%

調査区分

地区担当 民生委員	介護支援 専門員	障害者地域 生活支援 センター	主任児童 委員	回答なし	合 計
226 38.9	102 17.6	21 3.6	232 39.9	0 0.0	581 100.0

【高齢者・障害者ニーズ】（回答者： ）

問1 高齢や障害の方で日常生活に支障のある方やそのご家族からの相談やあなたの専門的見解から、介護保険制度等既存の福祉サービスでは対応できなくて困ったことはありますか。

ある	ない	回答なし	合 計
207 59.3	139 39.8	3 0.9	349 100.0

問2 それはどのような世帯に関する相談でしたか。

高齢者世帯	障害者世帯	高齢者世帯も障害者世帯も相談を受けた	回答なし	回答者数
117 56.5	26 12.6	69 33.3	6 2.9	207 100.0

高齢者や障害のある方やその家族からの相談で、介護保険制度等の既存の福祉サービスで対応できなくて困ったことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人の割合が 59.3%という結果でした。また、その世帯は「高齢者世帯」56.5%、「障害者世帯」12.6%「高齢者世帯も障害者世帯も相談を受けた」33.3%という結果でした。

問3 それは、どのような内容のものでしたか。(複数回答可)また、どのように対応されましたか。

< 内容 >

外出支援	買い物の手伝い	ゴミ出しや掃除	入院時・入院中のお手伝い	話し相手	電化製品の修理、使用方法の説明	家の小修繕	生きがいのための趣味活動	集いの場(サロン)	その他
91 44.0	64 30.9	98 47.3	114 55.1	72 34.8	48 23.2	64 30.9	41 19.8	33 15.9	59 28.5

回答なし	回答者数
1 0.5	207 100.0

< 対応 > 複数回答可のため選択肢の総和と回答者数は一致しないことがあります。

外出支援

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
34 37.8	5 5.6	12 13.3	11 12.2	20 22.2	8 8.9	13 14.4	90 100.0

買い物の手伝い

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
37 57.8	16 25.0	7 10.9	4 6.3	7 10.9	2 3.1	4 6.3	64 100.0

ゴミ出しや掃除

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
24 25.8	17 18.3	47 50.5	6 6.5	10 10.8	1 1.1	8 8.6	93 100.0

入院時・入院中のお手伝い

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
61 53.5	14 12.3	16 14.0	5 4.4	19 16.7	2 1.8	17 14.9	114 100.0

話し相手

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
37 52.1	7 9.9	8 11.3	6 8.5	18 25.4	7 9.9	3 4.2	71 100.0

電化製品の修理、使用方法の説明

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
35 72.9	4 8.3	5 10.4	1 2.1	3 6.3	1 2.1	5 10.4	48 100.0

家の小修繕

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
13 20.6	9 14.3	12 19.0	17 27.0	11 17.5	2 3.2	7 11.1	63 100.0

生きがいのための趣味活動

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
13 31.7	3 7.3	3 7.3	11 26.8	8 19.5	5 12.2	3 7.3	41 100.0

集いの場（サロン）

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
9 28.1	8 25.0	1 3.1	12 37.5	1 3.1	6 18.8	3 9.4	32 100.0

その他

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
23 32.4	5 7.0	23 32.4	3 4.2	10 14.1	9 12.7	12 16.9	71 100.0

問1の内容について尋ねたところ、ニーズは、「入院時・入院中のお手伝い」55.1%が最も高く、「ゴミ出しや掃除」47.3%、「外出支援」44.0%の順でした。
また、その対応方法について尋ねたところ、10項目中7項目で「自分で対応した」が最も多い結果となりました。

問4 ひとり暮らし高齢者の見守りについて相談されたことはありますか。

ある	ない	回答なし	合計
225 64.5	118 33.8	6 1.7	349 100.0

問5 主に誰から相談されましたか。（最大3つまで回答可）

本人	別居の家族	近隣住民	公的機関（区役所など）	民生委員	介護保険事務所（ケアマネ、ヘルパー等）	医療機関（病院など）	その他	回答なし	回答者数
119 52.9	101 44.9	96 42.7	20 8.9	58 25.8	24 10.7	14 6.2	10 4.4	7 3.1	225 100.0

問6 どのように対応されましたか。

自分で対応した	地域で助け合って対応した	他機関に依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答なし	回答者数
109 48.4	79 35.1	69 30.7	9 4.0	3 1.3	10 4.4	225 100.0

ひとり暮らし高齢者の見守りについて、相談を受けたことがあるか尋ねたところ、6割以上の人が「ある」64.5%という結果でした。誰から相談されたかについては、5割以上が「本人」52.9%で最も高く、「別居の家族」44.9%、「近隣住民」42.7%の順でした。
また、その対応については、約5割の人が「自分で対応した」48.4%という結果でした。

問7 現在、担当している地域もしくは人の中に見守りの必要な方がいますか。

いる	いない	回答なし	合 計
239 68.5	93 26.6	17 4.9	349 100.0

問8 それはどんな理由ですか。

虚弱なため	認知症のため	うつ等 精神的疾患 のため	地域や周囲 との交流が ないため	その他	回答なし	回答者数
95 39.7	100 41.8	60 25.1	93 38.9	17 7.1	5 2.1	239 100.0

問9 見守りの必要な方を制度内・公的なサービス以外で援助するとしたら、どんな活動が必要だと思いますか。

集いの場 (サロン)	話し相手	外出支援	日常的な 見守り・ 声かけ	その他	回答なし	回答者数
70 20.1	140 40.1	58 16.6	268 76.8	8 2.3	20 5.7	349 100.0

現在、担当している地域もしくは人の中に見守りの必要な方がいるか尋ねたところ、約7割の人が「いる」68.5%と回答しました。その理由は、「認知症のため」41.8%が最も高く、「虚弱なため」39.7%、「地域や周囲との交流がないため」38.9%の順でした。
また、見守りの必要な方を制度内・公的なサービス以外で援助するなら、どんな活動が必要か尋ねたところ、約8割の人が「日常的な見守り・声かけ」76.8%と考えていることがわかりました。

【子育て世帯ニーズ】(回答者：)

問1 子育て世帯からの相談やあなたの専門的見解から、既存の公的サービスでは対応できなくて困ったことはありますか。

ある	ない	回答なし	合 計
38 16.4	192 82.7	2 0.9	232 100.0

主任児童委員の方に対して、子育て世帯からの相談で、既存の公的サービスでは対応できなくて困ったことはあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人の割合が16.4%という結果でした。

問2 それは、どのような内容のものでしたか。(複数回答可)また、どのように対応されましたか。

<内容>

しつけなど 子育ての 仕方	親同士の 交流・仲間 づくり	乳幼児を 連れての 外出	急用の 際の 一時預かり	登下校時の 安全性	共働きに よる子ども の世話	母子家庭の 男の子の遊 びや接し方	父子家庭の 女の子の遊 びや接し方	その他	回答なし
19 50.0	18 47.4	10 26.3	14 36.8	9 23.7	9 23.7	2 5.3	3 7.9	7 18.4	1 2.6

回答者数
38 100.0

<対応> 複数回答可のため選択肢の総和と回答者数は一致しないことがあります。

しつけなど子育ての仕方

自分で 対応した	地域で 助け合っ て対応した	行政機関に 依頼した	社会福祉 協議会に 依頼した	ボランティ ア・NPO に依頼した	特に対応し なかった・ 対応できな かった	その他	回答者数
13 68.4	4 21.1	7 36.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.5	19 100.0

親同士の交流・仲間づくり

自分で 対応した	地域で 助け合っ て対応した	行政機関に 依頼した	社会福祉 協議会に 依頼した	ボランティ ア・NPO に依頼した	特に対応し なかった・ 対応できな かった	その他	回答者数
9 50.0	8 44.4	4 22.2	0 0.0	0 0.0	1 5.6	2 11.1	18 100.0

乳幼児を連れての外出

自分で 対応した	地域で 助け合っ て対応した	行政機関に 依頼した	社会福祉 協議会に 依頼した	ボランティ ア・NPO に依頼した	特に対応し なかった・ 対応できな かった	その他	回答者数
6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	10 100.0

休養の際の一時預かり

自分で 対応した	地域で 助け合っ て対応した	行政機関に 依頼した	社会福祉 協議会に 依頼した	ボランティ ア・NPO に依頼した	特に対応し なかった・ 対応できな かった	その他	回答者数
7 50.0	3 21.4	3 21.4	0 0.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	14 100.0

登下校時の安全性

自分で 対応した	地域で 助け合っ て対応した	行政機関に 依頼した	社会福祉 協議会に 依頼した	ボランティ ア・NPO に依頼した	特に対応し なかった・ 対応できな かった	その他	回答者数
3 33.3	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 100.0

共働きによる子どもの世話

自分で 対応した	地域で 助け合っ て対応した	行政機関に 依頼した	社会福祉 協議会に 依頼した	ボランティ ア・NPO に依頼した	特に対応し なかった・ 対応できな かった	その他	回答者数
3 33.3	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	4 44.4	2 22.2	9 100.0

母子家庭の男の子の遊びや接し方

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0

父子家庭の女の子の遊びや接し方

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0

その他

自分で対応した	地域で助け合って対応した	行政機関に依頼した	社会福祉協議会に依頼した	ボランティア・NPOに依頼した	特に対応しなかった・対応できなかった	その他	回答者数
3 42.9	3 42.9	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	2 28.6	7 100.0

問1の内容について尋ねたところ、「しつけなど子育ての仕方」50.0%で最も高く、「親同士の交流・仲間づくり」47.4%、「急用の際の一時預かり」36.8%の順でした。
また、その対応方法について尋ねたところ、9項目中6項目で「自分で対応した」が最も高い結果となりました。

問3 ボランティアや地域の方が子育て世帯を援助する場合、どんな活動が良いと思いますか。
(複数回答可)

集いの場(サロン)	相談・話し相手	外出の付き添い	一時預かり	子ども会活動	登下校時の安全性	非行防止パトロール	伝承遊びなど高齢者との交流	子どもの遊び相手・スポーツ指導	家事援助
198 85.3	163 70.3	12 5.2	52 22.4	80 34.5	107 46.1	67 28.9	99 42.7	66 28.4	18 7.8

家庭訪問活動	その他	回答なし	回答者数
49 21.1	3 1.3	2 0.9	232 100.0

子育て世帯の援助について、どんな活動が良いか尋ねたところ、「集いの場(サロン)」85.3%で最も高く、「相談・話し相手」70.3%、「登下校時の安全性」46.1%、「伝承遊びなど高齢者との交流」42.7%の順でした。

【共通事項】(回答者 :)

問1 地域の困り事を私たちの課題として、住民同士が協力して問題解決する力は、ここ数年で高まってきていると思いますか。

高まってきている	変わらない	むしろ低下している	わからない	回答なし	合 計
147 25.3	234 40.3	111 19.1	68 11.7	21 3.6	581 100.0

地域の困り事を住民同士で問題解決する力が高まっているか尋ねたところ、約4割の人が「変わらない」40.3%と考えていることがわかりました。

問2 制度内・公的なサービス以外の援助を求められた場合の対応について、誰もしくはどういう団体に期待しましたか。または、期待しますか。(複数回答可)

公的機関 (区役所など)	社会福祉 協議会	地域団体 (地域福祉 推進協議会 など)	ボランティ ア・NPO	親 族	隣近所の方	民生委員	介護支援 専門員 (ケアマネ ジャー)	医療機関 (病院な ど)	知人・友人
327 56.3	231 39.8	154 26.5	182 31.3	194 33.4	254 43.7	227 39.1	136 23.4	95 16.4	86 14.8

その他	回答なし	回答者数
6 1.0	17 2.9	581 100.0

既存の公的サービス以外の援助について、どこに期待するか尋ねたところ、「公的機関(区役所など)」56.3%が最も高く、「隣近所の方」43.7%、「社会福祉協議会」39.8%、「民生委員」39.1%の順でした。

問3 制度内・公的なサービス以外の援助を求められた場合、対応できる地域団体やボランティア・NPOなど必要な機関の十分な情報をあなたは持っていると思いますか。

十分 持っている	少し 持っている	持って いない	全く持って いない	回答なし	合 計
20 3.4	339 58.4	192 33.0	18 3.1	12 2.1	581 100.0

地域団体やボランティア・NPO等必要な機関の情報を持っているか尋ねたところ、「少し持っている」58.4%が最も多く、「持っていない」33.0%が続き、「十分持っている」と回答した人の割合は3.4%でした。

問4 制度内・公的なサービス以外の援助を求められ対応できなかった場合、その原因は何だと思いますか。（複数回答可）

対応できるサービス・活動する団体の情報がない	相談できる窓口が分からない	地域住民の協力が得られなかった	対応できるサービス・活動する団体がない	対応するための時間がとれなかった	関係機関との連携がとれなかった	サービス利用にかかる費用を利用者が負担できない	その他	回答なし	回答者数
318 54.7	166 28.6	69 11.9	155 26.7	51 8.8	83 14.3	197 33.9	40 6.9	43 7.4	581 100.0

介護保険制度等の既存の福祉サービス以外の援助を求められ、対応できなかった原因について尋ねたところ、「対応できるサービス・団体の情報がない」54.7%で最も多く、「サービス利用の費用を負担できない」33.9%、「相談できる窓口が分からない」28.6%、「対応できるサービス・活動する団体がない」26.7%の順でした。

問5 地域の困り事を私たちの課題として、住民同士が協力して問題解決する力を高めるためには、何が必要だと思いますか。（複数回答可）

地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信	自己啓発研修等の開催	専門機関のアドバイス	地域団体やボランティア・NPOと顔の見える関係づくり	身近に相談できる人の存在	地域福祉の新たな担い手の育成と活動の支援	住民の話し合う場	地域住民の福祉意識を高めるための啓発	特になし	その他
315 54.2	71 12.2	200 34.4	269 46.3	255 43.9	237 40.8	199 34.3	267 46.0	1 0.2	8 1.4

回答なし	回答者数
20 3.4	581 100.0

地域の困り事を住民同士が協力して解決する力を高めるために何が必要か尋ねたところ、「地域福祉ニーズに対応する団体の情報の地域への発信」54.2%が最も多く、「地域団体やボランティア・NPOと顔の見える関係づくり」46.3%、「地域住民の福祉意識を高めるための啓発」46.0%、「身近に相談できる人の存在」43.9%の順でした。